

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel: 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel: +81-3-3666-1361

URL: <https://www.jpx.co.jp/>

2020年4月30日

各位

株式会社東京証券取引所

「ETFをもっと早く、もっと安く」

～ETF市場におけるRFQプラットフォーム”CONNEQTOR”のサービスインに向けた 本開発の開始について～

(経緯)

東京証券取引所（以下、「当社」という）は、ETF市場の流動性向上を目指して、2018年にマーケットメイク制度を導入しその後も継続的に改善を行っていますが、それらに加え、立会内市場では執行しにくい大口取引の円滑化のため、2019年10月より、RFQ機能の提供について検討を行ってきました。

これまで、利用者となり得る多くの機関投資家の皆様のご協力をいただきながらデザインを行い、十分なニーズを確認でき、技術的にも実現の目途が立ったことから、このたび、サービスインに向けた本開発を開始することとしました。このRFQ機能を利用するためのプラットフォームには、「機関投資家・証券会社・マーケットメイカーをより緊密に繋げることで、ETFの取引がもっと効率化されるように」との想いを込めて、「CONNEQTOR」と名付けています。

(狙い・特徴)

ETFをもっと早く、もっと安く

ETFは、株式指数だけでなく、外国株、債券やコモディティも日本株と同じように売買が出来る商品です。当社はRFQ機能の提供により、「日本の機関投資家が容易に世界水準の流動性とプライシングにアクセス出来る」こと、それにより日本でも「ETFをもっと早く、もっと安く」売買出来るようになることを目指しています。

オンラインで完結

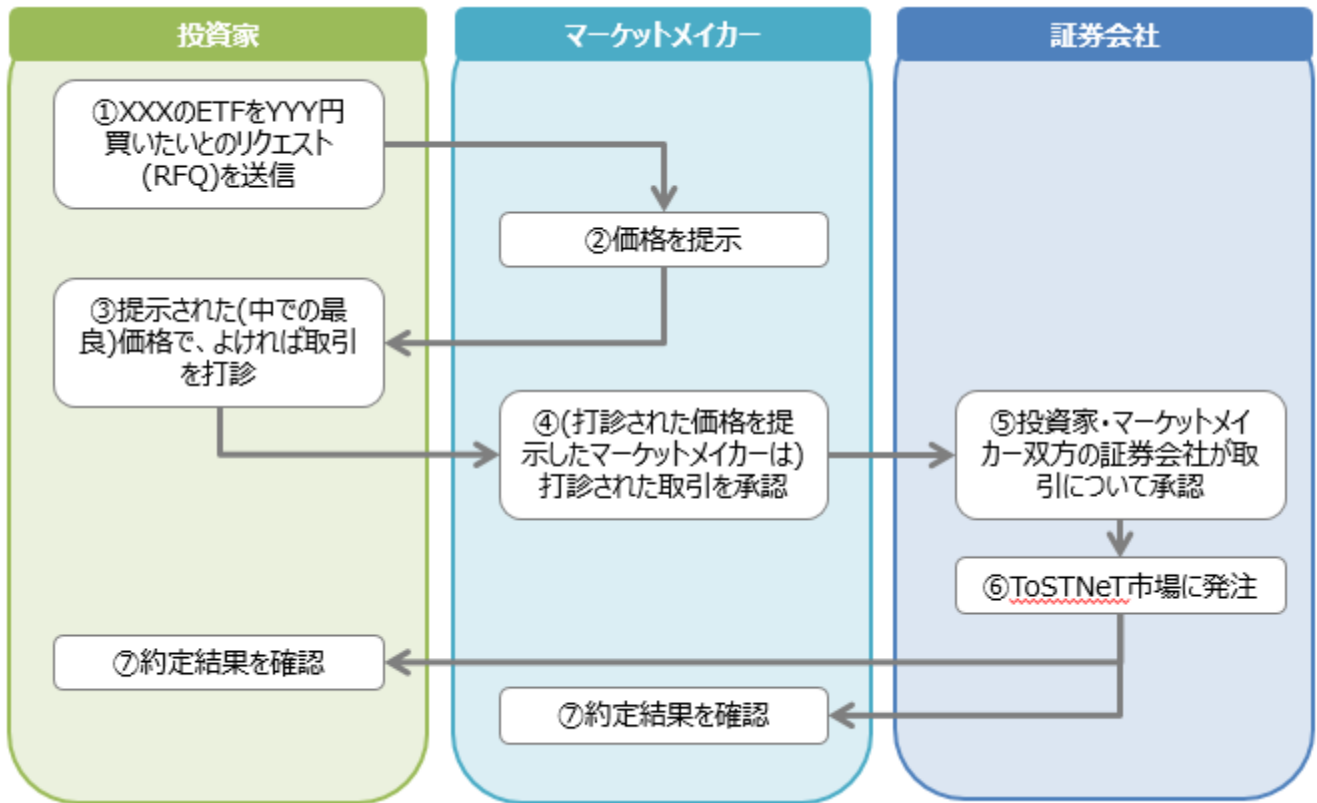
あわせて、新型コロナウイルスにより可能な限りの出勤削減が求められる中、オンラインで売買が完結するツールを提供することで、機関投資家が安全に業務を続けられるようにしたいと考えています。

利用料は無料→誰でも使える

銀行や地域金融機関のような売買頻度の低い機関投資家でもプラットフォームを利用することが出来るよう、初期・月額ともに利用料は無料です。当社は売買が成立した場合にのみ、証券会社に対して取引手数料（場口銭）を請求します。

(RFQ 機能の概要・取引の流れ)

RFQ 機能とは、主に機関投資家が、売買を希望する銘柄・数量等を多数のマーケットメイカーに打診し、個別に提示された価格で売買を行うことを可能にする機能です。CONNECTOR では匿名性を保ちつつ気配提示は高い透明性を保っており、投資家は提示された価格のうち、最良のものでのみ取引することができます。RFQ 機能を利用した場合の取引の流れは以下の通りです。



- ① 投資家は CONNECTOR 上で「XXXX の ETF を YY 円分、買いたい¹」とのリクエストを送信します。
- ② マーケットメイカーは価格を提示²します。
- ③ 投資家は提示された価格（※常に最良の価格が表示されます）でよければ、取引を打診します。
- ④ 最良価格を提示したマーケットメイカーは打診された取引を確認し、承認します。
- ⑤ 投資家及びマーケットメイカーがそれぞれ、あらかじめ指定した証券会社が取引について承認します。
- ⑥ 承認された取引は、ToSTNeT 市場に発注され、取引所取引として売買が成立し、清算・決済が行われます。
- ⑦ 投資家は取引の状態、操作履歴及び表示結果の全てについて、ログを取得することが可能です。

(今後の流れ・お問い合わせ先)

今後のスケジュールは以下の通りです。

- 取引参加者・ベンダー向け説明会³ (5月)
※ドキュメント・接続仕様は、仕様が決まり次第、順次公開します。
- パイロットテスト開始 (夏頃)
- 稼働 (2020 年末予定)

¹ 金額ではなく口数での指定や、決済日の指定も可能です。また、取引を行う証券会社について、あらかじめ選択しておく必要があります。なお、マーケットメイカーには売り/買いの別は示されません。

² マーケットメイカーには自動でプライス提示を行うための接続仕様を提供します。

³ オンラインで実施する予定です。

説明会の日時等については、取引参加者向けサイト（Target）での通知も行いますが、詳細な情報や、今後のアップデートを希望される方は、ask-conneqtor@jpx.co.jpまでご連絡ください。現在、実際にログインして一連の売買が体験出来るデモを受け付けています。

ご利用を検討される機関投資家様・証券会社様向けのデモ⁴や、改善・機能追加への要望も承っていますので、お気軽にお問い合わせください。当社は、より良いプラットフォーム、より良い市場を提供することで、「ETFをもっと早く、もっと安く」そして「誰でも」「安全に」売買出来る世界を目指して、今後も挑戦を続けて参ります。

以上

⁴ オンラインで実施します。

(参考：画面イメージ)

- 画面は、長時間モニターに向かう機関投資家の目にも優しい、ダークモード（黒を主体とした画面）です。
- 現在、ウェブサイト(<https://conneqtor.tokyo>)で利用イメージの動画を配信しています。
- 画面は開発中のものです。今後、予告なく変更となる場合があります。

The screenshot displays the CONNEQTOR trading platform interface. On the left, a dark sidebar contains the logo 'CONNEQTOR' and navigation options like '機関投資家', '気配提示依頼', and '取引履歴'. The main area shows a trade order for '1306 TOPIX連動型上場投資信託' (野村アセットマネジメント). The order type is '買' (Buy) with a price of 1,400.9. The amount entered is 310,000,000 yen. The interface includes fields for '利用証券会社' (Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities), '決済日' (Settlement date) set to T+2, and buttons for '依頼送信' (Send order) and '取消' (Cancel). A summary box at the bottom shows the best bid price of 1,400.9, the order amount of 3,999,557,957 yen, and the quantity of 221,286 shares. The RFQ ID is 00000 and the time is 4:50.

(参考：開発手法について)

RFQ 機能の検討・開発に当たってはリーン・アジャイルと呼ばれる手法を採用しています。同手法は、開発開始時点での仕様確定は行わず、利用を希望される方へのインタビューを繰り返し行い、要望が確認されたものから順次、開発を行うという手法です。現在、ビジネス面での検討から開発まで同一拠点（ラボ）⁵で行うことで、高速かつ高頻度に機能追加や改善・リリースを行っており、今後も利用者にとってより良いプラットフォームとなるよう、柔軟に機能追加やカスタマイズを行っていく予定です。また本年末の稼働後も、同じ手法を用いて比較的短期間に機能の拡充を続けてまいります。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社東京証券取引所 株式部
03-3666-0141（代表）
ask-conneqtor@jpx.co.jp

⁵ 現在は拠点に集まることはせず、ビデオ会議で担当者間が常時接続しながら開発しています。